

Kyushu University
School of Medicine
Department of Medicine

高校生のための
九州大学 医学部 医学科紹介
2014

「九州大学病院キャンパスへようこそ」

九州大学医学部医学科長

片野光男



九州大学病院キャンパスへようこそお出でくださいました。関係者一同皆さんを大歓迎致します。ご覧のように、病院地区は、市街地にありながら木々や空、そして海山を感じる事のできる恵まれた環境にあります。そして、今歩いているキャンパスの小径は、世界の医学・医療に多大な貢献をした九州大学医学部が誇る6名の諸先輩（大森治豊初代学長、稲田龍吉教授、宮入慶之助教授、田原淳教授、久保猪之吉教授そして橋本策博士）の名がつけられています。是非、どのような方々であったか調べ、そして意識して小径を歩いてみてください。きっと悩める人々と共に歩んできたこれら先達の気概と息吹を感じることができます。

九州大学医学部は、1903年、県立福岡病院をもとに勅令によって誕生しました。実は、1903年に建てられた研究棟（当時は、内科の病棟でした）が今日も皆さんを歓迎しています。さあどの建物でしょう。ヒントは西洋風のレンガ造りの建物です。高い天井から往時の医師達の凛とした姿がしのべられます。是非、立ち寄ってみてください。その建物と並んで立っている建物は、2005年に建てられた研究棟です。100年という時を越えて、しっかりと手をつなぎ、九州大学の基礎医学研究を支えています。このように、今皆さんの居る場は医学・医療を学ぶための理想の場として今も成長し続けています。病院地区の案内図を見ればすぐその事が理解できます。我が国最大級の新病院を中心に、基礎研究を実施するための研究棟（基礎研究A、B棟、総合研究棟など）、臨床研究をするための研究棟（臨床研究A、B棟など）、競争的研究を実施するための研究棟（コラボセンターI,IIなど）、さらには生体防御医学研究所、放射線実験センター、動物実験センターなどが整然と並び立っています。何よりも素晴らしいのは、医学だけではなく薬学、歯学、保健学、医療経営学といった医療・医学を学ぶための人と建物がこの場に一同に集っている事です。もし、時間があれば、先端医療イノベーションセンターが立っている一画を訪ねてください。未来に向かって成長し続けている病院キャンパスを感じる事ができると思います。このような理想的な医学・医療を学ぶ場は他にはありません。今日一日、輝かしい前途

（医学者あるいは医師として社会奉仕している貴方自身）に夢を馳せながら病院キャンパスを散策してください。今日の訪れが夢をさらに大きく膨らませる事を願っています。ただし、病院キャンパスであることを心に留め節度のある散策を楽しんでください。是非、志高く敬意を持って再び九大病院キャンパスの門をくぐってきてください。ともに、明日の医学・医療を拓くための良い道具となることに邁進しましょう。それでは、病院キャンパスでの皆さんとの出会いを楽しみにしています。素敵な一日でありますように。

2020年に日本で一番の医学部になる

志高く、身を整え、敬意を持って病院キャンパスの門をくぐろう

門をくぐる時は、空を見上げ、心の時間軸を長くしよう

キャンパスや病院内では、端を颯爽と歩こう

教員を信じ、己を高めることに邁進しよう

共に、世界のリーダーとなる気概を持って毎日門をくぐろう

沿革 / History —おもな年表—

- 明治36年 4月 1日 京都帝国大学福岡医科大学開設
解剖学、内科学、外科学、眼科学各1講座開設
- 〳36年 9月11日 生理学、医化学各1講座開設
- 〳36年 9月14日 第1回入学宣誓式挙行
- 〳36年 9月22日 第1回教授会開催
- 〳37年 5月20日 解剖学、外科学を2講座に増設、病理学、小児科学、衛生学各1講座を開設
- 〳38年 3月22日 内科学を2講座に増設、薬物学、婦人科学産科学各1講座開設
- 〳38年11月13日 第1回解剖体祭を万行寺にて執行
- 〳39年 4月23日 皮膚病学、微生物学、法医学、精神病学、耳鼻咽喉科学各1講座開設
- 〳40年 5月 9日 病理学が2講座となる
- 〳40年12月12日 第1回卒業証書授与式挙行
- 〳41年 5月 1日 解剖学が3講座となる
- 〳42年 5月24日 内科学が3講座となり整形外科学講座開設
- 〳44年 4月 1日 京都帝国大学福岡医科大学が九州帝国大学医科大学となる
- 〳45年 5月29日 衛生学が2講座となる
- 大正 7年 6月18日 生理学が2講座となる
- 〳 8年 4月 1日 九州帝国大学医科大学は九州帝国大学医学部となる
- 〳11年 5月29日 歯科学講座開設
- 〳12年 1月19日 衛生学2講座は衛生学講座と細菌学講座とに分立
- 〳13年 7月 7日 皮膚病学、微生物学講座は皮膚科学泌尿器科学講座の2講座となる
- 昭和 2年10月 7日 歯科学は歯科学口腔外科学講座となる
- 〳 3年10月24日 創立25周年記念祝典挙行
- 〳 4年12月17日 放射線治療学講座開設
- 〳11年 3月27日 薬物学講座は薬理学講座と改称、皮膚科学泌尿器科学講座は皮膚科学講座と泌尿器科学講座に分立
- 〳14年 5月13日 臨時附属医学専門部設置
- 〳15年12月10日 民族衛生学・植民衛生学講座開設
- 〳17年 9月23日 臨時附属医学専門部第1回卒業式挙行
- 〳19年 3月31日 臨時附属医学専門部は附属医学専門部と改称
- 〳19年 5月10日 熱帯伝染病研究所設立
- 〳20年 4月 1日 環境医学研究所設立
- 〳21年 2月14日 熱帯伝染病研究所を風土病研究所と改称
- 〳21年 3月 1日 民族衛生学・植民衛生学講座は民族衛生学講座と改称
- 〳22年10月 1日 九州帝国大学医学部は九州大学医学部となる
- 〳24年12月 1日 放射線治療学講座を放射線医学講座と改称
- 〳25年 4月 1日 薬学科設置3講座が開設
- 〳26年 4月 1日 衛生学講座と民族衛生学講座は衛生学第1講座、衛生学第2講座となる
- 寄生虫学講座開設、薬学科が5講座となる
- 〳27年 4月 1日 結核研究施設、助産婦学校、看護学校設置、薬学科が7講座となる、附属医学専門部廃止
- 〳28年 4月 1日 精神病学講座は神経精神医学講座と改称
- 〳28年 5月 3日 医学部創立50周年記念式典挙行
- 〳29年 4月 1日 診療工・ツクス線技師学校設置
- 〳29年 9月 9日 衛生学第1講座は衛生学講座に衛生学第2講座は公衆衛生学講座と改称
- 〳30年 4月 1日 九州大学大学院医学研究科設置
- 〳30年10月31日 癌研究室開設
- 〳31年 7月16日 九州大学附属図書館に医学部分館設置
- 〳32年 4月 1日 がん研究施設設置、化学部門開設
- 〳33年 4月 1日 心臓血管研究施設設置、内科部門開設
- 〳35年 4月 1日 結核研究施設は胸部疾患研究施設にがん研究施設が癌研究施設と改称、衛生検査技師学校設置
- 〳36年 4月 1日 精神身体医学研究施設設置、癌研究施設に病理部門開設
- 〳37年 4月 1日 麻酔学講座開設
- 〳38年 4月 1日 精神身体医学研究施設廃止、精神身体医学講座、放射線基礎医学講座開設、放射線医学講座は放射線科学講座と改称、脳神経病研究施設設置、内科部門開設
- 〳39年 4月 1日 薬学科を薬学部薬学科に振替

昭和41年 4月 1日	医化学講座は生化学第1講座となり、第2講座開設、脳神経病研究施設に外科部門開設
〳42年 4月 1日	癌研究施設に細胞部門開設
〳42年 6月 1日	歯科学口腔外科学講座は口腔外科学として歯学部へ振替
〳47年 3月31日	衛生検査技師学校廃止
〳48年 3月31日	看護学校及び診療放射線技師学校廃止
〳48年 4月12日	ウイルス学講座開設、心臓血管研究施設に外科部門開設、動物実験施設設置
〳48年11月24日	創立70周年記念式典挙行
〳49年 4月11日	脳神経病研究施設に病理部門開設
〳51年 4月 1日	癌研究施設に免疫部門開設
〳52年 4月18日	臨床薬理学講座開設
〳53年 3月31日	助産婦学校廃止
〳53年11月25日	創立75周年記念式典挙行
〳54年 4月 1日	小児外科学講座開設
〳56年 4月 1日	遺伝情報実験施設設置
〳57年 4月 1日	脳神経病研究施設に生理部門開設
〳57年 4月 1日	癌研究施設は生体防御医学研究所に改組のため廃止
〳58年11月 5日	創立80周年記念式典挙行
〳60年 4月 1日	遺伝情報実験施設は学内共同利用施設となる
〳61年 4月 1日	医学研究科を医学系研究科に拡充改組、分子医学系専攻博士課程及び分子生命科学系専攻博士課程 (後期3年の課程のみの博士課程)増設
〳62年 5月21日	心臓血管研究施設に臨床細胞科学部門開設
〳63年 4月 8日	統合教育研究実習センター設置
平成元年 5月29日	麻酔学講座は麻酔・蘇生学講座と改称
〳元年 5月29日	脳神経病研究施設の生理部門を廃止し、同施設に臨床神経生理部門開設
〳6年 4月 1日	臨床検査医学講座開設
〳7年 5月29日	医学系研究科社会医学系専攻医療システム学講座開設
〳9年 4月 1日	心臓血管研究施設の臨床細胞科学部門を廃止し、同施設に分子細胞情報学部門開設 医学系研究科の再編成により、機能制御医学専攻・生殖発達医学専攻開設 (大学院整備(重点化)3か年計画の初年次)
〳10年 4月 8日	医学系研究科の再編成により、病態医学専攻・臓器機能医学専攻開設 (大学院整備(重点化)3か年計画の2年次)
〳11年 4月 1日	医学系研究科の再編により、分子常態医学専攻・環境社会医学専攻開設 (大学院整備(重点化)3か年計画完了)
〳12年 4月 1日	胸部疾患研究施設・心臓血管研究施設・脳神経病研究施設は、医学系研究科の附属研究施設となる 医学系研究科を廃止し、医学系学府(大学院教育組織)及び医学研究院(大学院研究組織)を設置 胸部疾患研究施設・心臓血管研究施設・脳神経病研究施設・動物実験施設は、医学研究院の附属研究施設となる
〳13年 4月 1日	大学院医学研究院環境社会医学部門に医療経営・管理学講座が設置され、大学院医学系学府に医療経営・管理学専攻修士課程(専門大学院)が設置された
〳14年10月 1日	医学部に保健学科が設置され、医療技術短期大学部は、同部学生が在学する間存続することとなった
〳15年 3月 8日	創立100周年記念式典挙行
〳15年 4月 1日	医学研究院の8部門を基礎医学部門、先端医療医学部門、臨床医学部門、分子生命科学系部門及び 医学教育学部門の5部門に、23講座を11講座に再編 大学院医学系学府に医科学専攻(修士課程)が設置された 医学研究院附属統合教育研究実習センターを廃止し、全学共同教育研究施設として医療系統合教育 研究センターを設置 大学院システム生命科学府の設置に伴い、大学院医学系学府分子生命科学系専攻は、同専攻学生が 在学する間存続することとなった 学校教育法の改正により、大学院医学系学府医療経営・管理学専攻修士課程(専門大学院)は、同 (専門職大学院)となる
〳16年 4月 1日	九州大学は国立大学法人九州大学が設置する大学となった
〳19年 4月 1日	医学部に生命科学科を設置 大学院医学系学府に保健学専攻(修士課程)を設置
〳20年 4月 1日	大学院医学系学府博士課程を1専攻に再編
〳21年 4月 1日	大学院医学系学府に保健学専攻(博士後期課程)を設置

医学部医学科アドミッションポリシー

21世紀の医学は、遺伝子治療や再生医学・医療など重要で魅力あふれる分野が多くあります。医学部医学科においても、高度先端医療の研究と実施におけて、これまでの伝統を基盤にして、独創性に富んだ国際的視野をもつ医学者の養成を行っています。それと同時に、臨床の場では診療行為の実力とともに人間味あふれ、社会性に富んだ医師の育成を目指しています。そのために、人の生命に興味をもち、その研究に情熱を燃やし、積極性と活力をもって医学に取り組むことができる学生を歓迎します。

教育理念 (教育理念・目標、育成する人材像等)

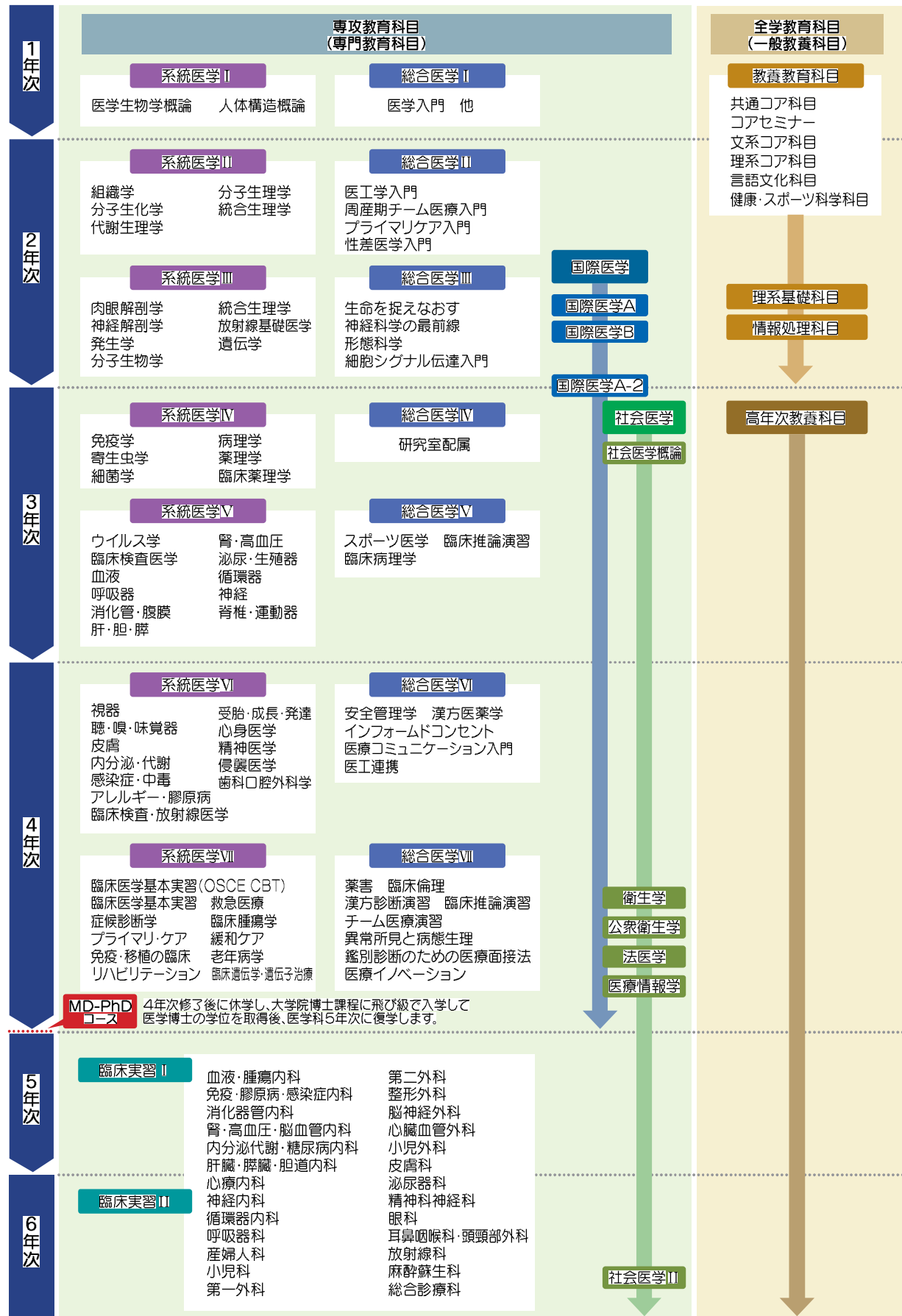
医学部医学科は、医学に関する知識・技術の教育を基盤にし、医の倫理に徹し、旺盛な探求心を有する医師および医学研究者を育成することを目的としています。創始以来約100年の伝統に培われた医学科の教育・研究の成果として、世界の医学界に誇る数多くの研究業績があります。またその名声により遠近を問わず広く一般患者に利用されている大学病院は、より高度な医療と社会福祉の実現に向かって全力をはらっています。医師・医学者には自然科学者としての適性が求められる一方、病気と闘う患者に寄り添うよき援助者であることも求められます。さらに医師の判断は患者の人生に大きな影響を与える可能性があります。医学部医学科での教育・研究は、専門性の修得ばかりではなく、広く深く人間についての洞察を重ねることへとつながるものです。

「人の健康と福祉の増進」という医学の使命を達成するための多様な人材を育成することが目的です。



カリキュラム

(平成25年度)



カリキュラム概要

系統医学 I～VII

医学・医療の長い歴史で培われ、多くの場面で必要となる最新の知識や技能、態度を学びます。必修制を採用しています。



生化学実習

総合医学 I～VII

地域社会や国際社会、あるいは医学教育の変化に伴い、ある場面で特に必要となる知識や技能、態度を学びます。主に選択必修制を採用しています。



インフォームドコンセント



患者さんの接し方



コアセミナー発表会

臨床実習 I・II

それまでに学んだ知識、技能、態度を活かして、大学病院あるいは地域や海外の医療機関で、本物の患者さんや医療スタッフとのやり取りをとおして、医師としてのプロフェッショナリズムを実践的に学びます。



臨床医学実習

社会医学

医学・医療における倫理学や法学をはじめとする人文社会科学系の側面、さらに統計学や情報学などの理学・工学系の側面を学びます。

国際医学

医学・医療の現場に必要な英語の学習を基盤とし、将来、外国人患者の診療や海外で臨床・医学研究に携わる動機づけのために、海外における医学・医療や国際NGOの活動などについて学びます。



MD-PhDコース

早期に本格的な基礎医学研究を始めたい学生は、4年生修了時に休学し、医学系学府医学専攻博士課程に『飛び級』できます。博士号を取得した後に医学科5年生に復学します。

(1) 学生定員及び在籍学生数 Enrollment Limit and Present Number

医学部
School of Medicine

(平成25年5月1日現在)
As of May 1st, 2013

	定員及び在籍学生数 Classification	1年 1st year	2年 2nd year	3年 3rd year	4年 4th year	5年 5th year	6年 6th year	合計 Total
医学科 Department of Medicine	定員 Enrollment Limit	111	111	111	110	105	100	648
	在籍学生数 Present Number	119 (14)	128 (23)	108 (15)	106 (19)	114 (19)	90 (17)	665 (107)
生命科学科 Department of Biomedical Science	定員 Enrollment Limit	12	12	12	12			48
	在籍学生数 Present Number	17 (11)	14 (7)	11 (5)	13 (4)			55 (27)
保健学科 Department of Health Sciences	定員 Enrollment Limit	137	137	137	137			548
	在籍学生数 Present Number	141 (96)	139 (99)	137 (107)	150 (110)			567 (412)
合 計 Total	定員 Enrollment Limit	260	260	260	259	105	100	1,244
	在籍学生数 Present Number	277	281	256	269	114	90	1,287

Figures in parentheses indicate the number of female students.

* ()内は女子で内数を示す。

大学院(修士課程)
Graduate School(Master's Course)

(平成25年5月1日現在)
As of May 1st, 2013

専攻名 Course	定員及び在籍学生数 Classification	1年 1st year	2年 2nd year	合計 Total
医科学専攻 Master Course in Graduate School of Medical Sciences	定員 Enrollment Limit	20	20	40
	在籍学生数 Present Number	23	19	42
保健学専攻 Master Course in Graduate School of Medical Sciences, Department of Health Sciences	定員 Enrollment Limit	20	20	40
	在籍学生数 Present Number	29	34	63
合 計 Total	定員 Enrollment Limit	40	40	80
	在籍学生数 Present Number	52	53	105

大学院(専門職学位課程)
Graduate School(Master's Course)

(平成25年5月1日現在)
As of May 1st, 2013

専攻名 Course	定員及び在籍学生数 Classification	1年 1st year	2年 2nd year	合計 Total
医療経営・管理学専攻 Health Care Administration and Management	定員 Enrollment Limit	20	20	40
	在籍学生数 Present Number	21	27	48
合 計 Total	定員 Enrollment Limit	20	20	40
	在籍学生数 Present Number	21	27	48

専攻名 Course	定員及び在籍学生数 Classification	1年 1st year	2年 2nd year	3年 3rd year	4年 4th year	合計 Total
病態医学専攻 Pathological Sciences	定員 Enrollment Limit	—	—	—	—	—
	在籍学生数 Present Number	—	—	—	1	1
臓器機能医学専攻 Medicine and Surgery	定員 Enrollment Limit	—	—	—	—	—
	在籍学生数 Present Number	—	—	—	5	5
環境社会医学専攻 Environmental Health and Socio-Medical Sciences	定員 Enrollment Limit	—	—	—	—	—
	在籍学生数 Present Number	—	—	—	2	2
医学専攻 Department of Medical Sciences	定員 Enrollment Limit	107	107	107	107	428
	在籍学生数 Present Number	128	129	125	142	524
保健学専攻 Doctor Course in Graduate School of Health Sciences	定員 Enrollment Limit	10	10	10	—	30
	在籍学生数 Present Number	14	13	23	—	50
合 計 Total	定員 Enrollment Limit	117	117	117	107	458
	在籍学生数 Present Number	142	142	148	150	582

* 平成20年4月より1専攻化 * 保健学専攻は博士後期課程

(2) 学部卒業生数 Number of Graduates

(平成25年5月1日現在)
As of May 1st, 2013

	平成 22年度 2010	平成 23年度 2011	平成 24年度 2012	平成3年7月1日 以降の卒業生数 (累計) Total (1991.7.1~2013.3.31)	
医学科 Department of Medicine	101	104	104	2,281	
生命科学科 Department of Biomedical Science	15	14	12	41	
保健学科 Department of Health Sciences	看護学専攻 Nursing Course	67	68	71	511
	放射線技術科学専攻 Radiological Sciences Course	43	33	38	249
	検査技術科学専攻 Medical Technology Course	33	32	32	249
	小計 Total	143	133	141	1,009
計 Total	259	251	257	3,331	

* 医学部保健学科は、平成14年10月に九州大学医療技術短期大学部を改組して設置。第1回卒業生は平成19年3月。
Department of Health Sciences was founded in Oct. 2002. The first graduating class was in March, 2007

医学部(医学士)卒業生 学部(旧制)累計 ————— 4,863名
School of Medicine(Old system)
学部(新制 昭和24年以降入学~平成3年6月30日卒業)累計 3,858名
School of Medicine(New system 1949~1991.6.30)
医学専門部累計 ————— 838名
Medical College

(3) 大学院学位授与者数 Doctorate Conferred

区分 Classification			平成 22年度 2010	平成 23年度 2011	平成 24年度 2012	平成3年7月1日 以降の学位授与者数 (累計) Total (1991.7.1~2013.3.31)
博士課程 Doctor Course	課程博士 Degrees Awarded	博士(医学) Doctor of Philosophy (Medical Science)	90	89	107	1,631
		博士(理学) Doctor of Science	0	0	0	82
	論文博士 Theses Accepted	博士(医学) Doctor of Philosophy (Medical Science)	25	14	25	1,111
		博士(理学) Doctor of Science	0	0	0	8
修士課程 Master Course	修士(医科学) Master of Medical Sciences		22	8	18	180
	修士(医療経営・管理学) Master of Public Health					38
専門職学位課程 Master Course	医療経営・管理学修士(専門職) Master of Public Health		21	15	23	174

博士学位授与者数 旧制学位(福岡医科大学、九州帝国大学、九州大学)累計 ————— 5,310名
Doctorate Conferred Old system

新制学位 課程博士(昭和24年以降入学~平成3年6月30日授与)累計 医学博士 892名
New system Degrees Awarded(1949~1991.6.30) 理学博士 15名

論文博士(昭和28年~平成3年6月30日授与)累計 ——— 医学博士 1,549名
Theses Accepted(1953~1991.6.30)

平成26年度入学者選抜の基本方針(入学要件、選抜方式、配点等)

入学定員:111名 一般入試(前期日程)

(1) 大学入試センター試験及び個別学力検査等の配点

前期日程

	国語	地理・歴史	公民	数学	理科	外国語	面接	計
センター試験	100	50		100	100	100	—	450
個別学力検査	—	—	—	250	250	200	—	700
計	100	50		350	350	300	—	1,150

(2) 個別学力検査実施教科・科目等

前期日程

	数 学	理 科	外国語
科 目	数 学 I 数 学 II 数 学 III 数 学 A 数 学 B 数 学 C 6科目	物理 I・物理 II 化学 I・化学 II 2科目	英 語 〔英 語 II リーディング ライティング〕 ド イ ツ 語 フ ラ ン ス 語 1科目選択
配 点	250(150分)	250(150分)	200(120分)

国際交流

九州大学医学部では、国際交流も盛んに行われています。

釜山大学校医科大学、仁済大学、慶尚大学とは、学生交流を行っています。

九大カリフォルニアオフィスと国際部が主催する「シリコンバレー英語研修プログラム」が、8～9月に企画され、医学部からも毎年複数の学生が参加しています。

ドイツのゲーテンベルク大学や、アメリカのクリーブランドクリニックで臨床実習（クリニカルクラークシップ）を受けることもできます。

また、財団法人医学教育振興財団が実施する、イギリスの大学医学部での臨床実習のための短期留学にも、毎年参加しています。

PNUYHでの病棟実習（釜山大学との学生交流プログラム）

平成24年3月医学科卒業 内山 光

4週間の実習を通して、医師・看護師・患者さん・ご家族・学生と多くの人に出会い、自分を別の側面から省みることができました。大変貴重な時間を与えて頂きありがとうございました。

私は前半2週間を循環器（cardiology）、後半2週間を一般外科（general surgery）で釜山大学の学生実習班に混じって勉強しました。

循環器では、朝夕の回診、心カテ室での検査、治療の見学、私のために全て英語で行って下さった症例検討会などに参加し、慣れない医学英語に困惑しました。また、日本でも行ったようなエコー、心音実習などにも参加し、医学（教育）の普遍性をしみじみと感じながら、学生と楽しく実習ができました。初日はなかなか耳に入って来なかった（あるいは元々知らなかった）医学英単語も、やはり毎日聞いたり調べたりしていると徐々に耳が慣れ、カンファレンスの中身が理解できるようになると、大きな充実感を覚えることができました。



一般外科では腹腔鏡手術から生体肝移植まで幅広く、数多く経験することができました。術中の説明はマスク越しということもあり、また時間も限られているため理解するにはかなり難儀しました。しかし、学生同士で指導医の先生が出した質問に対し、ああでもないこうでもないと考えながら、また寮に戻りネットで検索しながら少しずつ知識を深めることができました。

また、私は実習前全く知らなかったのですが、韓国の病院にはPA（Physician Assistant）と呼ばれる人たちがいました。PAさんは日本では医師にしか許されない医療行為を色々行っており、少ない医師の数でも業務を行うことができていた印象でした。（手術は術者の医師1名と、PAが第一助手として1名の計2名で行う等）日韓の病院のささやかな違いを認識することができました。

今回の実習を通して学んだことで一番大きな事は、“英語は実に難しい”ということ。しかし、“英会話は実はそれほど難しくはない”ということ。専門用語の正しい使用ができれば通じるのではないかという印象を持ちました。大きな進歩だと自分では思います。

この4週間で知り得た友人、先生方とは今後も連絡を取り続けられるよう努力していきたいと思います。そして、いつかまた同じフィールドで、成長した姿を見せることができたらと感じました。

シリコンバレー英語研修プログラム・留学全体を通して

医学科2年 廣瀬華子

この留学に参加した理由はまず英語力の向上のためでした。英語に囲まれた生活をして、英語力を上げられるのではないかと考えたためです。もう一つの理由は、アメリカの文化などに触れることで自分の視野を広げたいということでした。この1年の間に何かしようと思ったときにこのSVEPを勧められました。

SVEPのいいところは様々な学部の学生が参加していることです。工学部や経済学部、文学部など本当に色々な学部の学生が参加しており、同じ九州大学の学生でありながらあまり他学部と交流がない私にとって、その人たちと話をするのはとても新鮮でした。



平日の授業も英語力別に分けられたクラスで受けることができ、実際英語を鍛えるのには効果的な授業だと思います。放課後には大学のイベントに参加することもあり、サンノゼ大学の学生と交流することができました。フィールドトリップでは有名なIT企業や研究所を訪問し、特に医療用ロボットのダ・ヴィンチを製造しているIntuitive Surgical社の訪問では実際にダ・ヴィンチを操作させてもらうというめったにない体験をさせていただきました。このような経験を通して、自分の視野は以前よりもぐんと広がったと思います。

また、ホストマザーのLoriや彼女の家族たちとの生活も、この留学での大きな経験になりました。彼女たちとの会話は、初めて本格的にネイティブと会話をする私にはとても刺激的で、彼女たちのおかげで楽しい毎日を過ごすことができました。またLoriの孫たちとはゲームをしたり宿題をしたりと面白い体験をさせていただきました。またおいしい料理をふるまってくれたり、週末の計画を一緒に練ってくれたり本当に私達を気遣ってくれたLoriに感謝しています。

またSVEPを企画しているカリフォルニアオフィスの方のサポートも良く、授業の相談から買い物の相談までしてしまっただけです。松尾所長さんやスタッフの人たちのサポートがなければ、こんなに充実した留学はなかったと思います。実際、このSVEPに参加して良かったと思います。アメリカに着いた当初は日本と全く違う環境に慣れず、どうなることかと思っていましたが、新しく出会った友人や先生、ホストファミリーのみんなのおかげでとても充実した4週間が過ごせました。また、自分が思っていたよりもたくさんのことを体験できました。もちろん英語力をつけるという点でもこの留学はとても良かったです。一方で自分の英語力のなさを痛感でき、新たな目標を設けることができました。しかしそれだけでなく、大学生のうちに自分自身でアメリカの文化や技術に触れるというめったにない経験をこの留学ですることができました。



課外活動

体育系、文化系ともに、医学部の多くの学生がサークル活動に参加しています。サークルで友人関係を広げることで、学生生活をより充実したものにしています。

医学部学生サークル一覧

アンダンテ

医用工学研究部

空手道部

漢方医学研究会

弓道部

軽音楽部

KLSA

剣道部

硬式テニス部

ゴルフ部

サッカー部

ジャグリング部

柔道部

準硬式野球部

水泳部

ソフトテニス部

卓球部

軟式野球部

熱帯医学研究会

バスケットボール部

バドミントン部

バレーボール部

フットサル部

ラグビー部

陸上競技部



建物配置図 CAMPUS MAP



⑩ナイチンゲール誓詞の碑



⑩郭沫若先生顕彰碑



⑪ヒポクラテスの木



⑦釜掛の松



⑧長塚節逝去の地



⑨九大生協食堂



⑫医学図書館



⑬医学部正門



⑭医学部75周年記念庭園



⑮神の手



⑰百年講堂

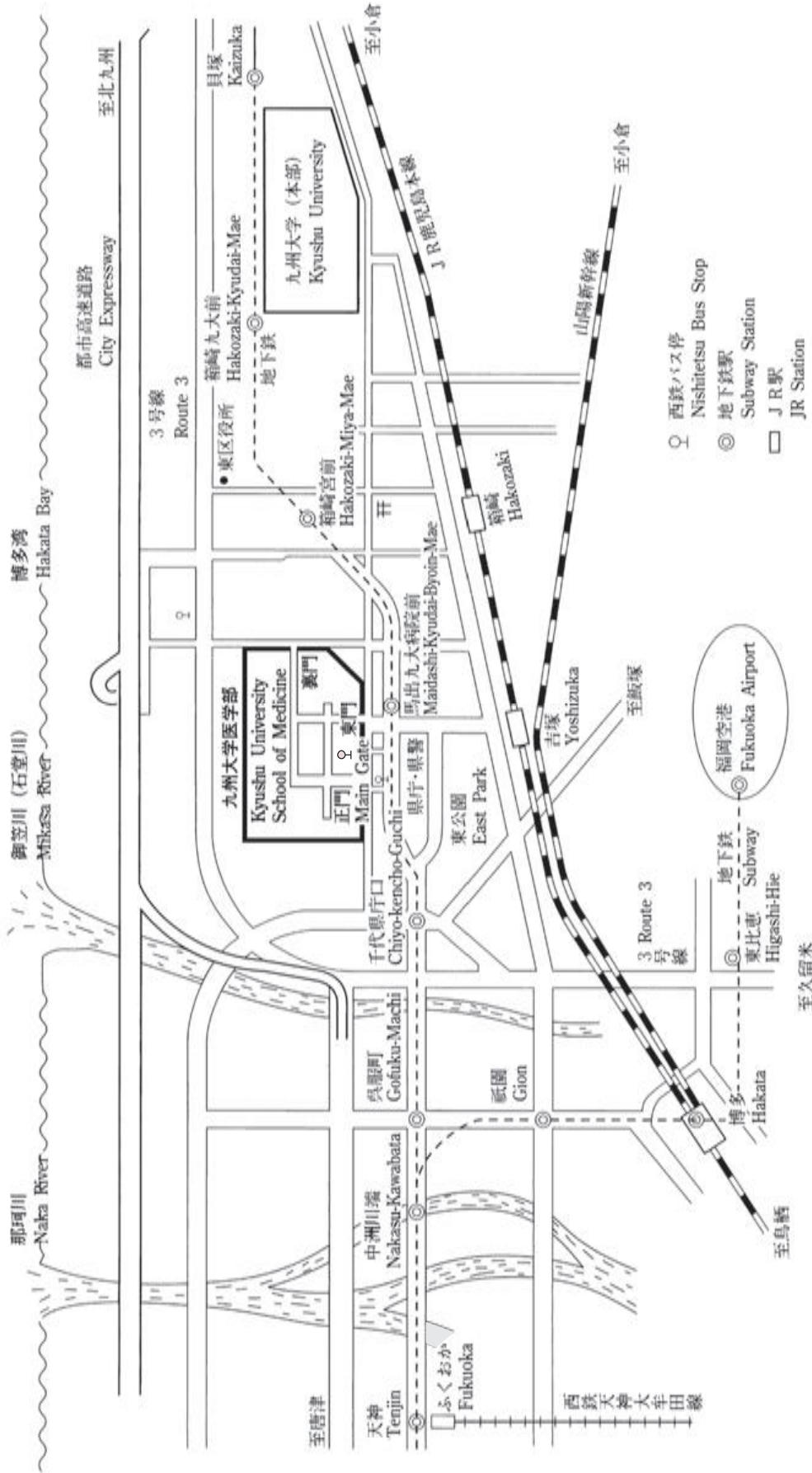


⑯慰霊塔「崇高な精神」

所在地略図 AREA MAP

医学部医学科、生命科学科

〒812-8582 福岡市東区馬出3丁目1番1号 ☎092-642-6020 FAX. 092-642-6189
 3-1-1 Madashi, Higashi-ku, Fukuoka City 812-8582 <http://www.med.kyushu-u.ac.jp/>



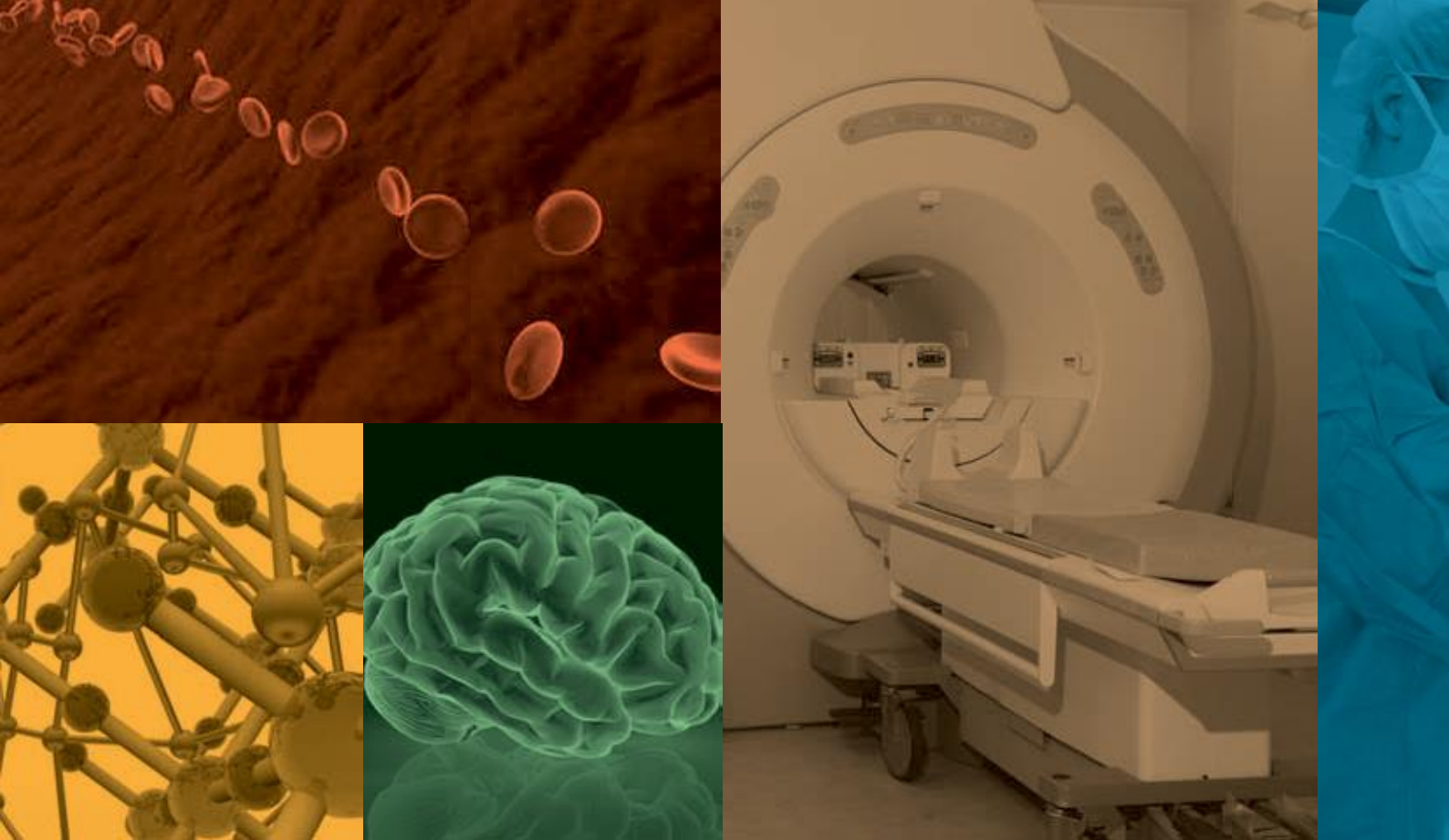
○ 博多駅から地下鉄 (中洲川端駅で乗り替え) で約10分

Subway service from Hakata Station to Madashi-Kyudai-Byoin-Mae is a 10 minute ride, but, necessary to change trains at Nakasu-Kawabata on the way

○ 博多駅から西鉄バス (系統番号10番九大前又は吉塚営業所行き) で約15分
 Nishitetsu bus service, No. 10 Kyudai-Mae' or Yoshizuka-Eigyosho-Yuki', from Hakata Station to Kencho-Kyudai-Mae is a 15 minute ride

○ 福岡空港からタクシーで約20分
 20 minute taxi ride from Fukuoka Airport

○ 福岡インターチェンジから約20分
 20 minute car ride from Fukuoka Interchange



九州大学
KYUSHU UNIVERSITY

九州大学医学部医学科ホームページ

<http://www.mdc.med.kyushu-u.ac.jp/medicalstudent/>